

番組審議会

第 15 回 B S よしもと番組審議会

■開催年月日：2025 年 7 月 29 日（火）

■開催場所：BS よしもと株式会社 会議室

■出席した委員（敬称略）7 名中 7 名全員出席 *あいうえお順

大原鶴美（プロフェッショナル コミュニケーションスキル マスター・トレーナー）

川上和久（麗澤大学教授）

久保博（一般財団法人日本スポーツ推進機構（NSPO）理事）

品田英明（元 味の素 AGF 株式会社代表取締役社長）

清水義次（建築・都市・地域再生プロデューサー/
株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役）

竹中ナミ（ナミねえ）（社会福祉法人プロップ・ステーション理事長）*リモート参加

山田奈美香（山田・尾崎法律事務所 弁護士）

■議題

- 1.開会の辞（審議委員長）
- 2.開会の挨拶（稲垣社長）
- 3.編成関連の報告（7 月改編等の編成動向について）
- 4.視聴者からの反応の共有（コールセンターレポートより）
- 5.番組審議

対象番組：「亜生とナダルがゆる～く釣り旅やっちゃってる 熊本編

たいぎゃ～楽しか～！日帰り弾丸ツアー！」 6 月 29 日(日)放送分

- 6.閉会の挨拶（泉取締役）
- 7.閉会の辞（審議委員長）
- 8.事務局からの連絡

川上審議委員長による開会の辞に続き、社長 稲垣より BS 放送局の最近の動向についての報告と挨拶を行い、審議会をスタートした。

■審議の経過の概要等

- 1.編成関連の報告

○金田専務兼編成制作局長より、7月改編等の編成動向について、以下のポイントについて説明を行い、確認された。

- ① 開局より一社提供番組として月曜日から金曜日の22時から1時間生放送の帯編成をしてきた「競輪 LIVE! チャリロトよしもと」をスポンサー都合により終了。
- ② 月曜日から木曜日まで21時に好評放送中の‘吉本新喜劇’を22時台にも編成し、2段積み編成とすることで功を奏している。
- ③ 終了番組の補充のため、地上波でも通用する人気芸人が出演していること、及び内容が地方創生の局として地方を舞台にした企画であることを選定のポイントとし、他局が制作した以下の3番組等を購入した。
 - ・日曜日21時～21時30分放送「東野・岡村の旅猿24 プライベートでごめんなさい…」
 - ・金曜日22時～22時30分放送「霜降り明星のあてみなげ」
 - ・土曜日24時～24時30分放送「ジモトに乾杯!居酒屋 礼二」
- ④ 週末の深夜の時間帯に、若者の視聴層を意識し、例として次の番組等を再編成した。
 - ・金曜日24時～24時30分放送「スナックコットン」(広島ホームテレビとの共同製作番組)
 - ・土曜日23時30分～24時分放送「つまみは紅しょうが 男子～宅飲みするからウチ来いや～」
 - ・金曜日23時～24時00分放送「イシバシハザマのもてなし」(FM 茅ヶ崎のDJ 番組をテレビ番組化)
 - ・土曜日23時～23時30分放送「鬼奴&RGの歌謡スナック想ひ出」
- ⑤ 以前、好評であることを報告した、月曜から木曜の13時～16時に生放送中の「発信 Live ジモトノチカラ!」において、7月21日(月)海の日の祝日に企画した3時間の大阪・関西万博特集が、前番組の約4倍の視聴量を記録し、開局以来午後の地方創生生番組としては最高記録となった。

上記の説明に対し、審議委員からは「競輪 LIVE! チャリロトよしもと」の終了の経緯について、及び「発信 Live ジモトノチカラ!」の大阪・関西万博特別番組の制作コストについての質問が寄せられ、「競輪 LIVE! チャリロトよしもと」については、稲垣社長よりスポンサー都合によるものであること、大阪・関西万博特別番組については、レギュラー番組予算内で制作されていることを金田専務兼編成制作局長より回答し、理解された。

2. 視聴者からの反応の共有 (コールセンターレポートより)

考査部より、4月～6月中にコールセンターに寄せられた視聴者からの意見についてのサマリーを報告し、全審議委員に確認された。

3.番組審議

対象番組：「亜生とナダルがゆる〜く釣り旅やっちゃってる 熊本編

たいぎゃ〜楽しか〜！日帰り弾丸ツアー！」 6月29日(日)放送分

初めに、編成制作・企画担当者と番組チーフ・プロデューサーから番組概要についての説明を行い、続いて審議委員長による進行で審議を行い、各審議委員から寄せられた質問については番組プロデューサーが応答する形式で番組審議を行った。

① 各審議委員からは、以下のような意見が寄せられた。

- ・「番組タイトルが、内容がそのままわかりやすくてよい」、という意見が寄せられた一方、「釣りが主体という印象の番組タイトルと、実際の内容にズレを感じた」という感想も寄せられた。
- ・コロコロチキチキペッパーズのナダルとミキの亜生の個性と、2人のプライベートのような絡みが番組全体の魅力になっている。
女性ゲストを交えるとよりテンポが良くなるのではないか。
- ・テロップの出し方やフォントがTikTokのようにテンポが良く、映像もきれいで、画づくり全体のクオリティが高く見やすかった。
- ・全体のテンポが速くせわしいと感じた。もう少し時間を使ってじっくり描いたらより良かったのではないか。
- ・馬肉グルメの魅力を伝えるグルメレポートに、食する前の下調べや、味わったことの表現方法などより芸人のセンスを活かし、じっくり紹介するレポートであれば、より楽しめたのではないか
- ・魚が全く釣れなかった 坊主（ボウズ）だった結果の描かれ方について、やらせ感がなく、自然相手の番組らしく、リアリティがあって楽しめた。一方で
良くカバーはできていたと思うが、グルメの特集が馬肉のみの特集になってしまっており、他の熊本のグルメを紹介したりその地域の情報を釣りと掛け合わせて紹介したり、釣れなかった場合をゲーム化するなどの工夫があったら、バランスがとれ、旅番組としても楽しめてより良かったのではないか。

上記の番組についての意見に対し、番組チーフ・プロデューサーからは、

「リアリティを求めるということで坊主であってもありのままとし、弾丸ツアーというコンセプトを優先した。グルメに関しては、結果的に馬肉に特化されてしまったが、まずは熊

本城へ行くことが目的だったため、熊本城でワンハンド・グルメを選び、前半が馬肉メニューの選択となったが、最後は芸人もスタッフも含め行きたかった店ということで馬肉の名店での収録を選択したため、結果的に馬肉で始まり馬肉に終わる、という構成になってしまった。地域の情報を盛り込むことなどは、今後丁寧に取り入れていきたい。」という説明、回答が行われ、全ての審議委員に理解された。

4.閉会の挨拶

最後に事務局より次回の開催時期を確認後、泉取締役より、本日審議された番組はロケ地とタイアップを取っていることで、地域創生にも貢献できている。また、地方創生のための起業成功例として、埼玉県の訪問看護事業が引き続き好調であることが報告された後、審議委員長の閉会の辞をもって審議会を閉会した。

■現在のBSよしもと審議会委員（敬称略）

※2025年8月現在

川上和久（委員長／麗澤大学教授）

大原鶴美（副委員長／プロフェッショナル コミュニケーションスキル マスター・トレーナー）

久保博（一般財団法人 日本スポーツ推進機構（NSPO）理事）

品田英明（元 味の素 AGF 株式会社代表取締役社長）

清水義次（建築・都市・地域再生プロデューサー/株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役）

竹中ナミ（ナミねえ）（社会福祉法人プロップ・ステーション理事長）

山田奈美香（山田・尾崎法律事務所 弁護士）

以上